

《埼玉協同病院だより》

ふれあい

2012年 No.296

発行：埼玉協同病院
〒333-0831 川口市木曽呂1317
Tel.048-296-4771
Fax.048-296-7182

6

おもな記事●職種紹介～認定看護師シリーズ①/
震災から一年／ひとつぶの会
健康マメ知識／虹の投書箱だより／連絡バス時刻表

糖尿病診療の紹介 健康寿命の延伸を目指して

▶▷…認定施設…◁◁

当院は糖尿病研修指導医・専門医3名、糖尿病専門医1名のいる日本糖尿病学会教育認定施設です。川口市内では最も専門医の多い病院です。糖尿病専門外来に通院中の患者数は2,717名で病院全体での糖尿病患者数は3,791名です。2011年度の当院での統計では、2型糖尿病患者様の平均ヘモグロビンA1c6.85%です。

▶▷…治療内容…◁◁

- ①週末を利用した2泊3日の短期の学習入院(教育入院)があります。食事療法の体験と学習、合併症検査を目的にしています。昨年度は短期学習入院34名でした。
- ②インスリンポンプ療法入院や持続血糖モニタリング入院も行っています。昨年度は前者1名、後者6名でした。
- ③透析施設がありますので糖尿病腎症が悪化した場合もスムーズに透析治療に移行しております。昨年度の当院における透析導入者29名、内糖尿病腎症は11名でした。
- ④足壊疽の治療は皮膚科・整形外科と連携をとり救肢に努めています。マゴット(ウジ虫)治療を取り入れ今まで6名治療し4名救肢できました。当院はマゴットセラピー提携病院として登録されています。
- ⑤糖尿病網膜症は眼科と連携をとりつつ加療すると共により専門的な治療が必要な場合には早い段階で他医療機関に紹介しています。
- ⑥妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠も産科と連携をとりながら今まで大勢の元気な赤ちゃんが生まれました。昨年度妊娠糖尿病13名、糖尿病合併妊娠2名です。
- ⑦カンバセーションマップ(「会話のための地図」)を用いて楽しく外来教室を行っています。月に1回の頻度で(合計4回)出席し終了です。昨年度は56名受講しています。

⑧糖尿病患者会『あけぼの会』は1982年発足し、現在81名の会員数で活発に活動しています。

毎月、機関誌『ライフさかえ』を読む会を実施し指導医やスタッフと共に最新医療を学んでいます。会員の一番の楽しみは、研修旅行です。

▶▷…治療目標…◁◁

糖尿病患者の平均寿命は男性68歳で日本人男性より10年短命、女性71.6歳で日本人女性より13歳短命です。糖尿病医療で一番大切な治療目標は健康寿命の延伸です。糖尿病のコントロールが悪いまま長く患っていると糖尿病神経症・網膜症・腎症という糖尿病特有の合併症が出現し生活を不自由なものにしてしまいます。しかしそれより早く、軽い糖尿病あるいは予備軍の段階で油断していると脳梗塞や心筋梗塞が発症してしまいます。また、寿命という点では糖尿病患者も死因の一番は悪性新生物(癌)です。

日常診療において大切にしていることは一番に定期通院。次に血糖のコントロール、ヘモグロビンA1cが少なくとも良。三番目に血圧や脂質(コレステロール・中性脂肪)の



糖尿病医師チーム

コントロール、禁煙。最後のがん検診も含めた最低年に1回の合併症検査です。定期通院が大切なのは実は深刻な合併症をおこしているのは未受診者や治療中断者です。30~40代の6割が「糖尿病の治療を受けていない」のです。

▶▷…当院の役割…◁◁

当院は地域に密着した急性期病院としての役割があります。当院における慢性疾患としての糖尿病治療は①糖尿病と言われて治療方針が決まらない方や治療が難しい方②1型糖尿病や劇症1型糖尿病を発症し入院治療が必要な方③足壊疽や慢性腎不全をおこしてしまい専門的な治療が必要な方④妊娠糖尿病や糖尿病合併妊娠の方などを対象としています。

治療法が決まりコントロールが安定した方は地域のクリニックに御紹介していくことを推進しています。今までの紹介数は210名となっております。もちろんコントロールが悪化した場合、合併症をおこしてしまった場合は病院で治療を行います。普段は地域のクリニックに通院し、少なくとも年に1回は合併症検査に病院受診という『病診連携』を進めて合併症を増やさない努力をしていきたいと思ひます。

血糖値コントロールの指標と評価^{注1}

指 標	コントロールの評価とその範囲				
	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c(NGSP)(%) ^{注2}	6.2未満	6.2~6.9未満	6.9~7.4未満	7.4~8.4未満	8.4以上
HbA1c(JDS)(%)	5.8未満	5.8~6.5未満	6.5~7.0未満	7.0~8.0未満	8.0以上
空腹時血糖値(mg/dL)	80~110未満	110~130未満	130~160未満		160以上
食後2時間血糖値 ^{注3} (mg/dL)	80~140未満	140~180未満	180~220未満		220以上

注1 HbA1c値、空腹時血糖値、食後2時間血糖値の間には、個人差があること、日内変動が複雑なことなどから、定常的な相関性は望めない。
注2 HbA1cの国際標準化に伴い、新しいNGSP値と従来のJDS値とを併記している。
注3 血糖の頂値は一般に、食事開始後120分以内にある。

(日本糖尿病学会編、糖尿病治療ガイド2010。東京、文光堂、2010；p25より一部引用改変)

今年度の各種健康診断が始まっています。自分の利用できる健康診断の制度を活用し、1年の計画を立てましょう。

川口市国保加入者、後期高齢者保険加入者の国保ドックは6月1日から開始されます。

料金、内容とも昨年と変更なく、[30歳~64歳 9,450円、65歳~74歳 6,300円 75歳以上 6,300円]となっています。

胃検診、大腸がん検診を含めてこの自己負担の金額でドックが受診できるのはお得で、おすすめです。川口市国保に加入している方は国保ドック受診を検討ください。

ドックではなく特定健診を受診される方は、特定

6月【国保ドック】 7月【市がん検診】 受診スタート

健診にがん検診をプラスして受診することをお勧めします。また、自治体のがん検診や医療生協のがん検診を活用してみませんか？ がん検診推進のためのクーポン券が届いた方は受診料が無料になりますので活用しましょう。

社会保険に加入している方は各健康保険組合が提供する健康診断があります。

健康保険本人だけでなく扶養者検診、家族検診、一般生活習慣病健診という形で、健康診断のコースが

作られています。自己負担はありますが、健康保険組合から補助がでていますので、安心できる値段で受診できます。各健康保険組合から発行されるパンフレットやホームページで確認してみてください。当院で受診できる健康保険組合もたくさんあります。お手元に受診券が届いている方は書かれている内容をよく読んで、賢く受診しましょう。ご不明なことがありましたら、健康増進センターにご相談ください。その際はお手元に健康保険証、受診券を持ってご連絡をいただくと具体的なご相談に応じることができます。

健康診断のご予約、ご相談は健康増進センター ☎048-296-4880まで。

職種紹介 認定看護師シリーズ①

必要な情報を分かりやすく提供

私は入職時から配属された今まで、多くのがん患者様と関わってきました。がん化学療法を行うことは、副作用に対する不安、症状に対するダメージも大きく、身体的・精神的援助が必要です。

看護師12年目を迎えた頃、がん化学療法に対してもっと専門的な質の高い看護を提供したいという思いが強くなり7ヶ月の研修期間を経て、2011年に認定審査に合格し、がん化学療法看護認定看護師を取得することができました。

当院の外来化学療法室は2009年10月に新診療棟のF館2階に開設されました。私は専任看護

師として、安全確実な投与管理や副作用に対してのマネージメント、セルフケアの支援等を行っています。近年、抗がん剤治療は目覚ましい進化を遂げていますがそれに伴い患者様が手にする情報も溢れていて、ニーズも多様化しています。必要な情報を分かりやすく提供しながら、意思決定を支援していくことは看護師の大きな役割だと感じています。また、がん化学療法の副作用は患者様のQOLを大きく左右してまいります。そのため副作用のコントロールは治療継続の鍵とも言えますので、副作用症状を共有し予防や軽減できる手だてと一緒に考えた

り、医師への架け橋となる代弁者になることも大切な役割だと考えています。

がん治療は早い段階からの緩和ケアの介入が重要とされています。そのため、今年度より院内の緩和ケアチームにも所属し、緩和ケア認定看護師をはじめ、がん医療に関わる他職種と協働しがんの治療や症状緩和、どの時期でも一貫したがん医療を提供していきたいと考えています。



がん化学療法看護認定看護師 内川 聡美

質の高いケアを提供する医療サポートのための認定・専門資格

埼玉協同病院のクリニカルインディケーター その12

クリニカルインディケーターとは、医療の質を定量的に評価する指標のことで、医療の質の良否を客観的に測ることのできる「ものさし」にあたります。今回は職員が取得している専門資格について紹介します。

2011年7月の「ふれあい」でもご紹介させていただきましたが、当院では糖尿病療養指導士は10名おり、糖尿病チームの中で患者さんの療養をサポートしています。自己血糖測定、インスリン注射の手法など患者様に合わせた指導により、血糖コントロールの改善につながっています。

呼吸療法認定士は、看護師・臨床工学技士・理学療法士の中に7名います。

人工呼吸器を装着している患者様の状況を多職種で共有し、患者様の肺の状態に合わせた呼吸器の設定の調節、ベッド上で肺のふくらみができるだけ補助し、スムーズに痰を排出できるようにリハビリテーションの実施などにより、人工呼吸器をできるだけ早くはずすための

取り組みをチームで行っています。

栄養サポートチーム専門療法士は、管理栄養士・薬剤師の中に3名います。入院患者様の中には、点滴による静脈栄養を行っている方が少なくありません。患者様の栄養状態をきちんと評価し、可能であればご自身の胃や腸から栄養を取れるような方法を提案しています。この方法によって住み慣れた在宅生活への移行がスムーズにできる患者様も増えています。

他の認定・専門資格として主なものに、学会認定医や認定看護師・専門看護師などがあります。これらは、一般的な力量を備えた上に、数年間の専門分野での実践を積み重ね、研修期間

を経て認定試験に合格してはじめて取得できます。医師や看護師の国家資格は、一度取得してしまえば永久資格ですが、ここで紹介したそれぞれの資格は永久資格ではなく、再更新の制度を持っていることも特徴です。取得した後も関連した実務や一定の講習・研修の習得が必要、つまりその分野において学び続けることが資格の条件ともいえます。職員がこれらの資格を維持するために取り組むことが、結果として患者さんに提供するケアの質向上につながるよう、今後も専門資格取得者の力量の強化に努めていきたいと思ひます。

(診療情報部)

資格名称	認定機関	当院での取得者数	取得者の職種
栄養サポートチーム専門療法士	日本静脈経腸栄養学会	3	管理栄養士、薬剤師
日本糖尿病療養指導士	日本糖尿病療養指導士認定機構	10	看護師、薬剤師、管理栄養士
呼吸療法認定士	日本胸部外科学会／呼吸器学会／麻酔科学会	7	看護師、臨床工学技士、理学療法士

当院と医療連携している

開業医さんのご紹介 23 沢近医院



沢近 実先生

開業して、20年以上になりますが、初心の気持ちを忘れずに地域の皆様に関心しやすくなり、お役に立てる様に頑張っていきたいと存じます。気心懸人己（気は長く、心は丸く、腹を立てず、人は大きく、己は小さく）の精神を大切にしたいと考えております。

内科、小児科、リハビリテーション科を標榜しており、子どもさんから高齢の方まで幅広く診療させて頂いております。専門は糖尿病ですが、レントゲン・エコー・動脈硬化の機器及び超音波踵骨測定装置など揃えております。埼玉協同病院には、ほとんどの診療科で大変お世話になっております。休日・夜間、当院の患者様を診て頂いたり、病状悪化や入院が必要な患者様を紹介する際にも、快く受け入れてもらい感謝しております。また、当院に新しく患者様を紹介してもらうことも多く、大変助かっております。これからも病診連携をより強めていきたいと考えております。 医師：沢近 実



住所：〒333-0862 川口市北園町46-11 ☎048-261-8649

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	—	○	○	—
午後 15:00~18:30	○	○	○	—	○	—	—

【休診日】木曜・日曜・祝日、土曜の午後

※「ふれあい」に掲載の開業医さんを受診される際は、受診前に必ず問い合わせをお願いします。

震災から一年

2012年 3月27日

昨年の大震災で福島から避難し2011年3月26日に当院でご出産された田中公美子さん・希美ちゃん親子のご自宅へ訪問してきました。



希美ちゃんの出生時は2800gでしたが、1年たち体重は9kgになっていました。母乳は6ヶ月で卒業し、現在は離乳食とフォローアップミルクで育てています。おすわりも上手にでき、ハイハイをしながら活発に動いています。つかまり立ちをし、声もよく出してご機嫌でした。

パパ（和希さん）も訪問時、仕事がお休みで希美ちゃんをあやしており、3人の楽しい姿がみられました。

慣れない環境で1年が過ぎ、お仕事をごんばっているパパは少しスリムになり、さらにイケ

メン？育メンになっていました。現在、3人は川口市内に在住しています。福島の家には、公美子さんのご家族が夏に一時帰宅し、荷物を取ってきたそうです。新築で家を建てたばかりだったので、家のローンの支払いは継続していますが、放射能のことを考えると、福島には帰りたくない様子でした。

公美さんは、出産の時に同じ部屋ですごした方や、地域の子育てサークルで知り合った方などたくさんの方と友達ができ、新しい生活に慣れ、母親として地に足を踏まはじめています。この1年間のご苦労を向うことができ、希美ちゃんを中心に家族が輪&和になっている感じが伝わってきて、ほっとしたひとときを過ごさせていただきました。（産婦人科病棟助産師・高田綾野）

ボランティア

ひとつぶの会総会を開催しました



4月21日「ひとつぶの会」の総会を開催しました。会員34名・利用委員会1名・病院職員3名の合計38名の参加でした。

会員相互の理解と信頼を深め、心豊かに、仲良く、楽しくやり甲斐のある活動をモットーに、安心・安全でかかやすい病院づくりに活かされた活動であることを念頭に2011年度もがんばってきました。

確かな振り返りなくして、確かな方針を生み出すことはできないとの考えから、気づいたこと、感じたこと等を率直に出し合い活発な意見交換がされました。

今年度は、54名の登録でスタートしました。新しく取り組む活動としては、災害時

総会では、「確かな振り返りと確かな方針が生み出されました」

の学習を予定しています。活動中に災害が発生した場合、職員と協力して自分自身をはじめ患者様を守り適切な対応が取れるよう避難経路や避難場所の確認を行い、いざという時に万全の用意ができることを目的としています。

また、「ひとつぶの会」発足20周年を今秋迎えるにあたり、実行委員会を中心に記念行事についても検討しています。

職員と共に心と力を合わせて2012年度もがんばっていきなさいと思います。

虹の投書箱 だよ

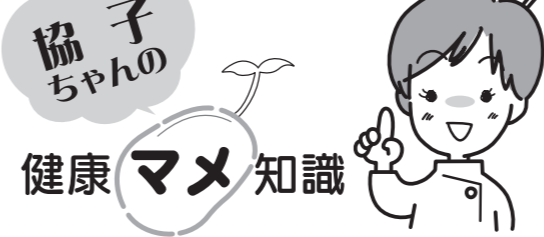
職員の待遇改善につとめます

問 家族の面会で、毎日、病棟に行っていますが、挨拶する人もいますが、多くの方が、こちらから挨拶しても、知らん顔です。病院のスタッフというより人として恥ずかしいと思います。

答 職員の対応が至らず大変不愉快な思いをさせてしまいました。心よりお詫びいたします。

早速、病棟で接遇学習会と話し合いの場を持ちました。各々が自身の接遇のあり方を振り返る機会となりました。毎日の仕事の中で、実践できるように指導してまいります。本当に貴重なご意見をありがとうございました。

回答者：小野 栄子（病棟看護長）



健康マメ知識

第126回

「水いぼ」とは

伝染性軟属腫ウイルスというウイルスが原因で、直接接で伝染する病気です。1～6歳くらいの子どものよくできます。

◆ 特徴 ◆

感染経路はよくわかっていませんが、肌と肌が接触することによって感染するといわれており、特にプールやお風呂など、肌が濡れあう場所で感染しやすいので着をつけてください。アトピー性皮膚炎の子は皮膚のバリア機能の低下により感染を起こしやすいので、特に注意が必要です。

ウイルスに対する免疫ができてくるので、放っておいても6ヶ月～数年で自然に治ることもあります。ただし、すれたり、掻いたりしていると、ほかの部位に広がることもあるので、皮膚科を受診しましょう。

◆ 治療 ◆

自然治癒する疾患なので、治療は必ず必要というわけではありませんが、増殖することが多いため、ご希望の場合は治療を致します。

☆当院での治療は摘除になります。摘除法は、水いぼ治療用のピンセットで、1個ずつ丹念につまみとりします。この方法が一番確実ですが、多少、痛みを伴います。

また、痛みを伴うことから当院では、麻酔軟膏を使用することがあります。

★水いぼが小さくて少ないうちに処置したほうが、治療期間が短くなり、またお子さまにも負担が少ないので早めの受診をお勧めします。

お薬の処方について、患者様にご案内します

当院では、以前より外来患者様にお薬の「院外処方箋」をおすすめしておりますが、8月1日(水)からは、全面院外処方とさせていただきます。〈全面院外処方へのご理解 ご協力をお願い申し上げます〉

当院では、入院患者様が大きく増える中で、薬剤師の病棟での仕事（具体的には、持参確認と調整・服薬指導・退院時薬の説明とお渡し）が増えております。また、抗がん剤治療を受ける患者様も急増し、病院薬剤師が調剤します。現在の薬剤師数は、病院全体の薬剤師業務に対して不足の状態ですが、人員の確保が大変困難な状況です。そのため、薬剤師に過重な労働の負担が生じております。このたび、やむをえず外来調剤については、院内処方を中心とし、全面院外処方とさせていただきますことになりました。何卒、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

